

はじめに



西宮市長
阿部 隆司

日本全体で人口減少が確認されている中、西宮市では市内の住宅数の増加に伴い、子育て世代を中心に人口の増加傾向が続いており、住んでみたいまちとして多くの人々から高い評価を得ております。

私は、西宮市長に就任以来、一貫したまちづくりの理念である文教住宅都市という都市目標に基づき、良好な住宅地としての魅力を意識したまちづくりを進めてまいりました。

今後も、この活気ある文教住宅都市を継続していくために、地域力を維持・向上することや、安心して子育てをできるまちであり続けることが重要と考えております。

それらを推進していくためにも、広聴事業とりわけ市民の皆さんから直接にご意見をお聴きすることはたいへん重要であると考え、これまでも各地域で誰もが参加しやすい広聴会を実施するなど積極的に取り組んでまいりました。

また、昭和29年から継続して実施しておりますこの「市民意識調査」につきましても、20歳以上の市民の皆さま3,500人に広くご意見をお聴きし、市政に対する意識を把握するための重要な広聴事業と考えています。

今年度は「地域情報誌『宮っ子』」「地域防犯活動」「住宅防火」「市からのお知らせ」「人権問題」の5テーマについて調査を実施しました。ここにまとめました調査結果から、皆様の意識・ニーズを的確に把握し、市民満足度の高い行政運営を進めてまいります。

結びに、市民意識調査にご協力いただきました市民の皆様、ならびに調査結果の分析をご指導いただきました関西学院大学政治行動研究センター・山田真裕教授をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成30年2月